

產地。南亞非利加

28. *Pristiurus melanostomus* (Rafinesque).

產地。スカンデナビアより地中海に至る

29. *Pristiurus naurinus* Collett.

產地。ヘブリデスの西北

30. *Pristiurus eastmani* Jordan & Snyder.

產地。日本

31. *Pseudotriacis microdon* Capello.

產地。北大西洋

32. *Pseudotriacis aculeas* Jordan & Snyder.

產地。日本

(三十六) タウナギ浅草の往來に迷ふ 去八月大雨ありて後數日、晴天燒くが如き日に、浅草千束町の淤溝に於て捕へたりとて、去る人の理科大學動物學教室に持ち來れる魚有り、小さき水桶に住み、能く生活せり、此の者は背鰭、腹鰭等凡て鰭全く無きが故に普通の鰻と異にして、且つ肛門は體の末端に近く開在せり、試に手を入れて是を驗するも、普通の鰻の如く活潑に逃るゝ事無く、能く

内外彙報

人の手掌の上にあり、全體、黃褐色にして全體濃き胡麻斑を呈す、此の者は朝鮮、支那、印度、臺灣、琉球及び内地にては近江に産する事を知るも、是より以北に産するは今回知りたるを始とす、學名を *Monopterus albus* と稱し、琉球にてはタウナギと稱す、淡水及び、鹹兩水の交はる處に産す、故に今回持參せる人の如く淡水に飼ひて能く生活するなり、浅草の淤溝に於て出水の後に取りたりとは毫も疑ふ處無き者の如し、果して然りとせば東京附近に産する者にや、尙は將來の實證に待たん。(田中茂穂)

●魚類報告 (第十回) 私用の爲め歸省したるを

以て報告の順序に不同と遅延とあり乞ふ諒せよ。

(第二十四) 本年八月信州松本なる河野齡藏氏の寄送せられたる者左の如し

- | | | |
|---------------------------------|----|-------|
| 1. <i>Leuciscus hakuenensis</i> | 方言 | アカウオ |
| 2. <i>Leuciscus jouyi</i> | 方言 | ハヤ |
| 3. <i>Pseudogobio esocinus</i> | 方言 | スナモグリ |
| 4. <i>Cottus pollux</i> | 方言 | 未詳 |

内外彙報

5. *Oncothynchus nasou* 方言 未詳
 6. *Zacco platypus* 方言 アカズ又はガゴ
 7. *Acheilognathus limbata* 方言 ニガザ
 8. *Hemibarbus barbus* 方言 アラメゴヒ
 (田中茂穂)

種 録

●北海道の鳥學

東北帝國大學農科大學動物學教

授八田三郎氏は北海道の鳥に近時非常の熱心を以て盡力せられ從來札幌博物館の標本を基礎となし米國の鳥類までも交換によりて採集し臺灣のものも追々増加しつつあり近時樺太へも鳥學の探險に出でんとの計畫もあり又元開拓使時代の函館の商人にて鳥類を採集し専門家へ標本を送り同定を乞ひ居りしブラキストンの標本を此度皆同博物館にて保管する事となりたり同標本は貴重なるにも係らず從來は函館博物館内に藏しあり其より同館廢止の際總計千百五十二の内廳立函館中學校へ九百八十九札幌中學校へ七十五北海道師範學校へ八十九と分配して

四〇

保管しありしを此度相合併したる譯なり斯く標本の集ると同時に古北界に於ける鳥の分布、ブラキストン線の意味等面白い事實追々と出て来るべし又吾人は出で来る事を切望するものなり
 (谷津直秀)

●ダーウキン祭への招待

ケンブリッジ大學に

てダーウキン祭の舉行は六月の誌上に掲け置きしが此度東京帝國大學に宛てケンブリッジ大學のチャンセラーより正式の招待狀來り四人の代員を命令せられん事を望むと。

●一年の動植物學生

今秋新に入學せられたる

動植物科學生は左の如し

伊藤盛次(二高)石橋榮達(三高)土井藤平(農)河田默(一高)田中八郎(六高)野村益太郎(一高)山川戈登(一高)松本彦七郎(一高)宮地數千木(三高)平坂恭介(七高)鈴木一郎(六高)都合十一名。

質 問 欄

問 動物は如何なる寒熱に堪へ得るか D. A.